

CAMPUS COMMUNICATION

CELERY

2011

4

April

No.79

中村学園大学・中村学園大学短期大学部 広報誌【セロリ】



出発

【学内歳時記】

入学式 学長訓示

◎学位記授与式 ◎新入生・卒業生コメント

出発

大学は出会いの場。
自らが積極的に求め、
行動することによって、
人との、そして書物や知識との
新しい出会いがあるだろう。
希望を胸に、さあ出発。
中村での日々は、
輝かしい未来へと
つながっている。

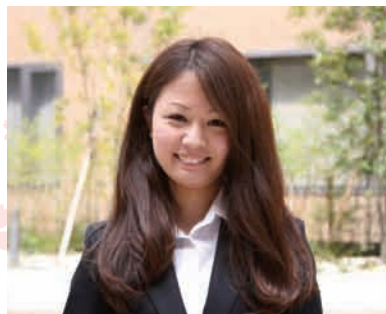


短期大学部 食物栄養学科



中村学園大学のことを知ったのは、高校1年生の頃。友人から栄養士の資格が取れると聞き、料理が好きな私は迷わず進学を決めました。大学生活では目標をしっかり持って頑張ります。友達をたくさんつくって、楽しい毎日を過ごしたいですね。(鶴岡さん 左)

短期大学部 キャリア開発学科



とにかく資格取得の勉強を頑張りたいです。中村ではサポート講座などがとても充実しているので、秘書検定や簿記、パソコンなどいろんな分野に挑戦するつもりです。たくさんの力を身につけて、将来の仕事に生かせるよう頑張ります。(上村さん)

短期大学部 幼児保育学科



幼稚園の先生を目指すために幼児保育学科に入学しました。幼児教育について幅広く学び、どんな時でも臨機応変に対応できるような先生になりたいと考えています。時間を有効に使って、悔いが残らない2年間を過ごしたいですね。(杉本さん)

08

チャレンジするナカムラ生
中国からの留学生

07

わがゼミ案内
流通科学部 流通科学科
水島多美也ゼミ

05

学位記授与式
卒業生コメント

03

入学式
学長訓辞

01

新入生コメント

CONTENTS



短期大学部544名、大学758名、
大学院26名の新生と37名の編入生が
新しいスタートを迎えました。

大学 栄養科学部



将来は、管理栄養士として食品開発の分野
に携わりたいと考えています。その夢を叶えるた
めに、中村学園大学への進学を決めました。こ
れから、福岡で初めての一人暮らしに挑戦。栄
養についての学びを、毎日の食生活にも活か
していきたいと思っています。(戸田さん)

大学 教育学部



ずっと幼稚園の園長になることを目標にし
ていました!その夢を実現させるために、教育学部
を選びました。勉強においてはピアノが全くでき
ないので、その点を頑張っていきたいと思ってい
ます。また、野球部に入って、友人もいっぱい
つくりたいですね。(白井さん)

大学 流通科学部



高校も中村だったので、大学には当時からよく
遊びに来ていました。この春、憧れの大学に進学
できて、とても嬉しく思っています。流通科学部
では社会の仕組みについて幅広く学びたいと思
っています。また、サークルにも入って、充実した大
学生活を送りたいです。(本田さん 中央)

CELERY

中村学園大学・中村学園大学短期大学部
広報誌【セロリ】

2011.4 April

No.79



18

クラブ & サークル
硬式テニス部

17

活躍する卒業生

10

EVENT and NEWS

・学内外のイベント
・学生表彰
・教職員の動き

09

平成23年度入試結果
付属幼稚園 園長だより

入学式

平成23年4月2日、
満開の桜のなか、
大学院・大学・短期大学部の
入学式が執り行われました。



—学長訓辞—
新入生の皆さんへ

努力の上に花が咲く

中村学園大学 学長 藤本 淳
中村学園大学短期大学部

ご来賓各位をはじめ、新入学者の保護者・ご家族の皆様方多数のご臨席のもと、平成23年度中村学園大学短期大学部、中村学園大学、中村学園大学院合同入学式を挙げるに当り、中村学園大学短期大学部544名、中村学園大学758名、中村学園大学院修士課程、並びに博士課程26名、合計1,328名の新入学者を本学に迎え、その前途を祝福することは、私共教職員にとりましてこの上もない慶びでございます。とくに従来の人間発達学部を本年度から教育学部に改組したため、教育学部入学者は第一期生となるわけです。新入学者の中には、17名の外国人留学生も参列しています。母国を離れ、ご家族とも別れ、言葉や生活習慣に当初は何かと不自由なこともあるかと思いますが、一日も早くそれらを克服し、本学での学園生活に慣れて下さい。新入学者の皆さん、ご入学おめでとうございます。保護者・ご家族の皆様方におかれましてはさぞかし万感の思いでこの入学式をお迎えになられたことと本学教職員を代表しまして心からお慶びを申し上げます。

去る3月11日の東日本における未曾有の大震災で多くの貴い命が失われました。心からご冥福をお祈り申し上げます。現在も不自由な避難生活を強いられ、舞い申し上げます。本日入学された皆さんは、この悲しみを乗り越え、それぞれの専門領域における知識と技術を身に付け、社会人となった暁にはこれから20年をはかるであろう日本復興の二員に加わって下さい。

新入学者の皆さんは、将来の目標を定め、中村学園で学ぶことを選択されました。釈迦は、その教えの中で、「人が何かを試みる時、好きになったら、実はもう成功しているのだ」と説いています。皆さん。どうか、本学で学ぶことを先ず好きになつて下さい。そのためには、皆さんが何故本学園で高等教育を受けるのかをもう一度考えて下さい。それぞれの専門教育の知識・技術を身に付け、短期大学士、学士、或いは修士・博士の学位を取得し、専門職業人になることのみが本学の教育目標・目的ではありません。

中村学園は現在の短期大学部食物栄養学科の前身である昭和29年の福岡高等栄養学校の創設から数えて57年、短期大学部では3万名、大学では1万名を超える卒業生を社会に送り出し、建学の精神に培われた皆さんの先輩方の活躍によつて高い社会的評価を受けています。皆さんも今日から中村学園の一員となるわけですので、学園祖中村ハル先生が掲げられた建学の精神を熟知し、それを日々体現して下さい。

先生は、第二に、「日本人としての自覚を持ち、清節の風を尊び、感恩の情に富み、労作にいそしむ、人格の形成に努める」と教えられました。清節とは高い志を持ち続けること。感恩とはご両親をは

じめ、皆さんを教育する先生方、そして皆さん方の日々の成長を支援して下さる方への感謝を怠らないこと。労作とは困難に打ち勝ち、努力して物事を達成するということです。この清節、感恩、労作は皆さんの人間性や人格を一層磨き、将来、社会が求める専門職業人となるための基本となるものです。先生は、第二に、「姿・形は心の現れ」と説かれました。本学で学ぶ学生には「中村らしさ」が大切です。中村の学生らしい服装、言葉遣い、挨拶、マナーにも本学で学ぶ学生らしさがなければなりません。それがなおざりになりますと心に隙が生じ、結果的には学業も疎かになります。先生は、第三に、「理論と実際の統合を図り、学問と生活の融合を重んじた教育」を説かれました。文部科学省は高等教育機関が与える学位の質保証に関する近年の数々の答申で、21世紀の知識基盤社会が求める学士・短期大学士の素養は「何を学んだかではなく、何が出来るようになったか」であるといっています。先生は50年以上前にこの答申の言わんとすることを建学の精神に織り込まれたのです。

加えて、文部科学省は本年度からの大学設置基準に「大学等は個別の授業科目のシラバスや体系的教育課程の編成を通じて、社会的・職業的自立を促す指導等の在り方を学生に対して理解させる」ことを求めています。これも本学の建学の精神に則ったものであり、本学においては既にその趣旨にふさわしいカリキュラムを実

施しています。シラバスとは各授業科目の内容、日程を定めたもので皆さんも是非webシラバスで各授業科目の内容を事前に確認して下さい。

このグローバル化時代、本学は世界に通用する学位を授与する高等教育機関でありますので、その教育目標を皆さん全員が達成するためには以下の三つのことを必ず守ってください。まず、第一に、「学びは基本から」ということです。皆さんがこれから受ける講義・演習・実習からなる各教科の殆どは高等学校にはなかった教科名です。本学では入学前教育や入学してからの補完教育などで或る程度の対応をしていますし、教科の基本的事項は高等学校で既に学んでいるはずですが、若しその教科に対する基本的知識が不十分であるのなら、それらを高校の教科書で補ったり、本学のeラーニングシステムを活用して下さい。文部科学省の設置基準では60分の授業には60分の予習と60分の復習、即ち自学・自習を義務付けています。第二に、「キャンパス以外にも学びの場を求めよ」ということです。皆さんは臨地実習、インターンシップ、さらに九大・福大・西

南大・福岡歯科大との大学間連携による単位互換を認めた共同授業などで学外でも正規の授業を受けることが可能ですし、それに加えて、将来の職業選択に関連のある企業訪問、地域における社会貢献活動、ボランティア活動、その他サークル活動を通じて他大学の学生

ともキャンパス外で積極的に交流して下さい。本学は、キャンパスのすぐ近くに夜間照明装置を完備し、人工芝を敷いた21,000平米を超える田島グラウンドを有しています。学業の余暇にはこの広々としたグラウンドでクラス・マッチなどで汗を流して下さい。タンパク質、脂質、糖質の三大栄養素がエネルギー源になるためには、ビタミン、ミネラル、食物繊維などが必要なように、このようなエキストラカリキュラムも皆さんが将来健全な社会人になるためには必要です。第三に、「悩みに早く解決せよ」ということです。在学中に一時的に精神的・肉体的原因から学業が思ったようにはかどらないことは誰しもにあります。本学は個人情報に十分留意した指導主任制度、学生相談室、保健室などの学生支援体制を整備しており、本学の専任教員である産業医や嘱

託医が、希望すれば皆さんのメンタルヘルスのアドバイス等を行います。必要があれば、保護者の方とよく相談され、本学の学生支援システムを活用して下さい。

本学は専門領域の知識・技術を修得し、国家資格などの様々な資格の獲得を目指すとともに、建学の精神に則って21世紀の日本を背負う心豊かで、情操に富み、社会性・倫理性に培われた人材を養成する高等教育機関です。皆さん。多くの先輩、友人との出会いを大切にし、学問への情熱を高め、自分に対して真実を求め、他人に対して真心を持って接しながら、学園租のご遺訓「努力の上に花が咲く」を心に懸け、中村学園の次の50年の伝統を創造する一員に加わって下さい。



平成22年度

学位記授与式

平成23年3月11日、学位記授与式が行われました。

みんなの晴れやかな表情から、充実感いっぱい

の学生生活を過ごした様子がうかがえました。

この日を境に、卒業生の新しい「出発」が始まります。



短期大学部 食物栄養学科



食物栄養学科は教育カリキュラムがしっかりしているので、栄養士を目指す学生を力強く応援してくれます。後輩の皆さんには、ぜひこの環境を活かして多くの経験を積んで欲しいですね。(松本さん 左)

調理実習での経験がとても印象に残っています。クリスマスやお正月に向けた料理などさまざまな献立を手がけ、みんなで楽しくつくることができました。卒業後は保育園の栄養士として働きます。(山田さん)

短期大学部 キャリア開発学科



海外研修でカナダに3週間程、留学したことが一番の思い出です。卒業後は、金融機関に就職。この2年間で学んだ簿記、サービスマネジメント、ホスピタリティなどを、実際の仕事で役立てたいです。(田中さん 左)

これから百貨店の仕事に就きますが、キャリア開発学科で学んだことは、すぐに職場で活かせることばかりでした。後輩の皆さん、2年間はあっという間です。一日一日を大切にしてください。(千代島さん)

短期大学部 幼児保育学科



中村は、カリキュラムはもちろん、施設もすばらしく、幼稚園の先生になるための環境が整っていました。卒業後は幼稚園の先生になります。子どもたちの笑顔をいっぱい引き出せるような先生になります!(二田さん 左)

ピアノの練習が大変でしたが、なんとか乗り切ることができたのも、先生方の熱心なサポートのおかげです。この春から保育園の先生としてスタートしますが、園児に好かれるカワイイ先生になりたいです。(堤さん)



黒木さん(写真左)と川村さん(写真右)

スポーツ界で活躍する2名も卒業！！

(女子プロボクサー・WBC世界ストロー級25位)
黒木優子さん(短期大学部食物栄養学科 卒業)

中村ではたくさんの友達ができ、励ましてもらうことも多々ありました。ボクシングの試合にも応援に来てくれ、本当に心強かったですね。私は高校から短大までの5年間を中村で過ごし、いろんな思い出をつくることができました。これから社会に出ていきますが、何年後かにまたみんなと会う時は、しっかり頑張っている姿を見せたいですね。

(サッカーなでしこリーグ1部「福岡J・アンクラス」所属)
川村真理さん(人間発達学部 卒業)

4年間でかけがえのない友達と出会うことができました。一緒に楽しく語らい、学び、充実した4年間で過ごせたと思っています。U-20女子ワールドカップで長期間大学に通えない時には、先生方にもさまざまな支援をして頂きました。もちろん、家族の支えにも感謝しています。サッカーを楽しみ、もっともっと活躍できる選手になりたい。そのために、これからも努力し続けます。

謝 恩 会



大学 栄養科学部
(タカクラホテル)



大学 人間発達学部
(西鉄グランドホテル)



大学 流通科学部
(本学・西4号館食堂)



短期大学部 食物栄養学科
(西鉄ソラリアホテル)



短期大学部 キャリア開発学科
(西鉄グランドホテル)



短期大学部 幼児保育学科
(ホテルニューオータニ博多)



大学 栄養科学部



ボランティア活動として、福岡県小児糖尿病サマーキャンプに参加しました。7泊8日の日程で食事やおやつなど、献立から調理までを担当。講義で学んだ知識をフルに活かし、チームワークで乗り切りました。(久本さん 左)

一番の思い出は、なんと言っても寮生活。学科を越えてたくさんの友達ができ、季節ごとにお花見やクリスマスなどいろんなイベントを楽しみました。社会に出ていってもいつもキラキラ輝ける存在でありたいです。(藤橋さん)

大学 人間発達学部

※2011年4月より「教育学部」に改組



一緒に学んだ仲間には「同士」という感覚。多くの友人と出会えて、本当に良かったです。私も小学校の先生になりますが、いつも子どもたちに笑顔で接することができる先生になりたいです。(井田さん 左)

中村は少人数クラスで、教育者になるためにより深い学びができました。卒業後は、小学校の先生になります。子どもたちから親しんでもらえる先生を目指して頑張りたいと思います。(坂崎さん)

大学 流通科学部



学園祭実行委員会に参加。この経験がきっかけとなり、大学の枠を越えたボランティアサークルを自ら立ち上げることもできました。後輩の皆さんにも、一日一日を大切にしてください。多くのことに挑戦して欲しいと思います。(古賀さん 左)

流通の分野を通して、社会の仕組みをしっかり学ぶことができました。卒業後はアミューズメント関連の企業に就職。多くの人に、楽しさや喜びを感じてもらえるようなサービスを提供していきたいと思っています。(油田さん)

学生に、気さくに声をかけてくれます！



流通科学部 流通科学科 水島ゼミ (4年生 24名)



会社や経営の仕組みを、 会計学の視点で学ぶ

水島ゼミの研究テーマは、会社の利益計画や経営戦略に用いる「管理会計論」。「原価管理」や「予算管理」など会計にまつわる高度な知識を身につけ、会社や経営の仕組みを体系的に学んでいます。

「会社の利益をいかに上げ、コストをどう削減していくのか。管理会計論は、簡単には、経営者の立場で会計を考える学問と言えるでしょう」。そう語るのは、流通科学部の水島多美也先生。会計には、大きく分けると財務会計と管理会計があり、財務会計は主に、株主や投資家など企業の外部に対して提供することが目的です。これに対し管理会計は、企業内部で役立てることを目的としており、売り上げ目標や予算を組み立てながら、経営者の意思決定や組織の経営管理に役立てます。水島ゼミではこの管理会計を体系的に学ぶため、基礎的な概念について学びながら、管理会計の実践的な技法も習得します。

授業では例えば、予算とその実績を比較しながら管理する「予算管理」や、

どうなの？
(水島先生の口癖)

准教授 水島多美也 先生



製造業などで用いられる「原価管理」などを学習。授業で基本の概念を学んだ後、ゼミ生たちは4〜5人ずつのグループに分かれ、要約・討論しながら理解を深めていきます。「内容が高度なので、その都度理解していくためには、実際に自分たちでまとめなおすことが大事。パワーポイントなどを使って要約し、それを他者に発表することで客観性も身につき、プレゼンテーションの能力も磨かれるのです」。

こうして日々講義で学ぶ一方で、水島ゼミでは工場見学や他大学との研究発表会なども積極的に行っています。参加した学生にその内容を聞くと、「前回は山口県宇部市にある化学製品の工場に行きました。実際にものづくりの現場を見ることができ、材料費、人件費といった帳簿上の数字がリアルに感じられ、管理会計の必要性を具体的に感じることができました」と語ります。

水島先生の人柄については、「先生は一見無口なように見えるけど、実はおちやめな部分もあるんですよ」と学生たち。いつも「どうなの？元気にしてる？」と声をかけてくれる先生の親しみ易さに、ゼミではいつも和やかな雰囲気の流れています。「今は就職難など、学生たちには厳しい状況が続いています。でも、常に前向きな姿勢をもって自分の道を進んで欲しいですね」と語る水島先生のやさしい眼差しが印象的でした。

流通の学びと留学の体験を 最大限に活かし、二カ国の距離を 更に近づけていきたい。

学ぶほどに興味が高まっていく流通科学の学び。

中村学園大学で積み上げた多くの知識と留学体験を活かして、
もっと日本と中国の交流の道を広げていきたいと考えています。



日本語も話せないまま、
思いきってサークルに入部。
その経験が大きな自信に

高校までを中国で過ごし、卒業を機に日本への留学を決意。もともと日本には興味を持っていたので、日本語学校は先生の推薦もあり中村学園大学への進学を決めました。大学では流通科学部に在籍。入学当初は日本語があまり話せなかったのですが、先生の言葉も、黒板の文字すら分からず、いつも辞書が手放せない状態でした。そんな中、まずチャレンジしたのがサークルへの入部。私は簿記・会計サークルに入り、そこで多くの友人をつくることができました。日本語が分からない中での簿記の勉強はとてもハードでしたが、先生や先輩方、友人たちの親身なサポートのおかげで、1年生の秋には日商簿記3級に合格。2年次には2級にも合格し、サークルの副部長を務めることができました。

日本語の習得には、留学生を対象にした授業が設けられていたので、同じ中国から留学している仲間と一緒に勉強でき、とても心強かったですね。日本の大学で最初に受けた印象は、自由な雰囲気があるということ。先生方も親しみをもつて接してくださるので、授業で理解できなかった時などは先生の研究室を訪れ、その都度しっかりと習得することができました。

流通科学部では物流だけでなく、人の流れ、お金の流れなど、社会の仕組み

を体系的に学ぶことができました。流通システムは日本と中国では異なる部分も多いため、日本の優れた方式を中国で応用できるのではないかと、思うこともしばしば。自国と日本、二つの国を比較しながら学ぶことができたので、得られた知識はとても貴重だと感じています。



「中村の自由な雰囲気、学ぶ環境がすばらしい」と語る岳さん。

流通の可能性を追究したい。
そんな思いから大学院に進学。

こうした大学での学びを深めるべく、この春から大学院に進学しました。主にマーケティングに関心があり、消費者の行動心理などを研究し、流通の可能性を探っていきたいと考えています。そして将来的には、自分で会社を興すというのが一つの夢。日本と中国の魅力ある商品を双方に紹介しながら、モノの流れ、人の流れを更に大きく開いていきたいと考えています。こうしたグローバルな夢が芽生えたのも、中村学園で流通科学を学んだからこそ。近年は日本を

訪れる中国人も増加しており、二カ国の距離はますます近くなっています。私自身、在学中に日本各地を訪れ、魅力あるさまざまな文化に触れることができました。こうした留学での貴重な体験と大学で得た流通の学びを最大限に活かすことで、二カ国の交流をより活発にしていけたら、とても素敵なことだと思います。

留学というのは、新しい世界を開いてくれる貴重な経験になります。世界の国々がより近くなりつつあるこの時代だからこそ、積極的に異国の文化を吸収し、その経験が国際交流の更なる活性化に役立てられるのではないかと思います。先輩の皆さんも、もし留学に興味があるならぜひ、トライして欲しいですね。きつと多くの刺激が、自身を大きく成長させてくれるはずです。



太宰府天満宮でのショット。



通訳のアルバイトで富士山周辺に行ったことも。

平成23年度 入試結果

競争率は、受験者数 / 合格者数
(小数点第3位以下を四捨五入)

● 中村学園大学大学院

研究科・専攻	課程	種別	募集人員	志願者	受験者	合格者	競争率
栄養科学研究科 栄養科学専攻	博士前期	推薦	6	3	3	3	1.00
		一般(1次)		3	3	3	1.00
		一般(2次)		3	3	3	1.00
	博士後期	外国人留学生	3	0	0	0	-
		前期		2	2	2	1.00
		後期		1	1	1	1.00
人間発達学研究科 人間発達学専攻	修士	推薦	5	1	1	1	1.00
		一般(1次)		0	0	0	-
		一般(2次)		0	0	0	-
		社会人(1次)		2	2	2	1.00
		社会人(2次)		3	3	3	1.00
	修士	推薦	10	5	5	5	1.00
流通科学研究科 流通科学専攻	修士	一般(1次)		1	1	1	1.00
		一般(2次)		1	1	1	1.00
		社会人(1次)		2	2	1	2.00
		社会人(2次)		1	1	1	1.00
		外国人留学生		1	1	1	1.00

● 中村学園大学

学部・学科	種別		募集人員	志願者	受験者	合格者	競争率
栄 養 科 学 部 栄 養 科 学 科	推 薦	公 募 制	70	151	151	85	1.78
		併 設 校	20以内	20	20	19	1.05
	一 般（ 前 期 ）		90	487	484	165	2.93
	一 般（ 後 期 ）		5	64	64	6	10.67
	大学入試センター試験利用(前期)		12	215	215	49	4.39
	大学入試センター試験利用(後期)		3	21	21	7	3.00
	外国人留学生		若干名	4	4	0	-
	帰国子女		若干名	0	0	0	-
教 育 学 部 児童幼児教育学科	推 薦	公 募 制	80	195	194	102	1.90
		併 設 校	15以内	15	15	15	1.00
	一 般（ 前 期 ）		100	779	777	285	2.73
	一 般（ 後 期 ）		5	77	76	5	15.20
	大学入試センター試験利用(前期)		15	397	397	121	3.28
	大学入試センター試験利用(後期)		5	33	33	5	6.60
	外国人留学生		若干名	0	0	0	-
	帰国子女		若干名	0	0	0	-
流 通 科 学 部 流 通 科 学 科	推 薦	公 募 制	20	48	48	42	1.14
		指 定 校	45	68	68	68	1.00
		併 設 校	45以内	39	39	39	1.00
	一 般（ 前 期 ）		85	735	733	323	2.27
	一 般（ 後 期 ）		5	82	81	22	3.68
	大学入試センター試験利用(前期)		7	186	186	62	3.00
	大学入試センター試験利用(後期)		3	24	24	9	2.67
	外国人留学生		10	32	31	13	2.38
	帰国子女		若干名	0	0	0	-

● 中村学園大学短期大学部

学科	種別		募集人員	志願者	受験者	合格者	競争率
食物栄養学科	推 薦	公 募 制	37	84	84	60	1.40
		指 定 校	60	64	64	64	1.00
		併 設 校	15以内	7	7	6	1.17
	一般		33	168	167	67	2.49
	社会人		5 以内	6	6	4	1.50
	外国人留学生		若干名	2	2	0	-
キャリア開発学科	推 薦	公 募 制	10	19	19	18	1.06
		指 定 校	110	120	120	120	1.00
		併 設 校	15以内	15	15	15	1.00
	一般		15	46	46	29	1.59
	外国人留学生		若干名	0	0	0	-
幼 児 保 育 学 科	推 薦	公 募 制	75	127	126	101	1.25
		指 定 校	60	64	64	64	1.00
		併 設 校	15以内	15	15	15	1.00
	一般		40	151	150	67	2.24
	社会人		若干名	0	0	0	-
	外国人留学生		若干名	0	0	0	-

付属幼稚園 園長だより



ーいきいきトピックスー

中村学園大学付属
吉崎幼稚園 園長 久富さよ子

吉崎幼稚園では毎月保護者の皆様に向けて、保育の様子を手書きの「いきいきトピックス」でお伝えしています。これには園児や先生方の園での日常そしてエピソード等が書いてあります。

今年2月に配布された「いきいきトピックス」をみると、年長は日常とともに卒園式に向けて子どもたちが準備をしている様子を。年中は子どもたちのけんかやトラブルについての対応と、それを通して育つものへの期待や願いが、そして年中での1年間に育った内容が、例えば身支度のこと、友だちとの関わり、制作、給食、等々です。年少は頑張ったこと、節分、マラソン大会、そして年中になる事へ向けての準備の様子が綴られています。いずれも先生方の個性や工夫が紙面の文章や項目、レイアウトに表れており、興味深いものがあります。

親は、自分の子どもに将来りっぱな社会人になってほしいと願っています。そして幼稚園に期待することは、集団生活のなかでの在り方を認識し、コミュニケーション能力を身につける場であってほしい、と望んでおられるのでは、と私は考えています。卒園前の「いきいきトピックス」は、年長の子どもたちが、曲の雰囲気を感じとりながらきれいな声で歌い、仲間と自然に肩を組んだり、手をつなぎながら表現し、時には替え歌を作ったりなど、音楽に主体的に取り組む姿を伝えています。またマラソン大会のなかで、これまで培った走る力に加えて、最後まで頑張り抜く心を養ったことが綴られています。それらはいずれも、毎日の保育の積み重ねのなかから育った姿であり、先生方の日々の奮闘の結果でもあります。

ところで先日3月11日、東北地方で、これまでになく地震や津波の被害が伝えられました。これは決して他人ごとではないと強く感じます。このような時に、的確な判断ができる感性をこそ養っていくことの重要性を改めて痛感し、責務の重大さに慄然とする思いです。改めて職員一同、心をつにし頑張っていこうと考える次第です。

東日本大震災(東北地方太平洋沖地震)における義援金寄託について

平成23年3月11日に発生した東日本大震災(東北地方太平洋沖地震)により、甚大な被害が生じたことを受け、本学をはじめ、併設中学、高校、付属幼稚園でも義援金募金活動が行われています。

学生や生徒、教職員らから寄せられた義援金は、中村学園事業部を含む中村学園全体で総額13,567,015円となり、一旦3月末にまとめて日本赤十字社等に寄託されました。

この義援金が被災地の一日も早い復興に役立つことを願うとともに、被災された方々に改めてお見舞いを申し上げます。

なお、今後も、被災地の復興や被災者の救済に

対して引き続き最大限の支援を検討しています。支援の状況につきましては、随時本学ホームページでお知らせいたします。

【中村学園義援金寄託先】

日本赤十字社	10,000,000円
読売新聞社 読売光と愛の事業団	1,000,000円
西日本新聞民生事業団	2,567,015円
(合計)	13,567,015円

平成23年3月末現在

プログラム

- 開会の挨拶 学長 藤本 淳
- 講演
「先進的取組による活力ある
短期大学教育と高大接続」
～通算7度 GP 採択の湘北短期大学に学ぶ～
学校法人ソニー学園湘北短期大学 理事・教務部長 佐藤 清彦氏
情報メディア学科 教授 小棹 理子氏
- 報告
「キャリア情報管理システム n-cats の展開」
キャリア開発学科 教授 梶田 鈴子
- 卒業生によるミニシンポジウム
「キャリア教育の実践と成果」
第2期卒業生とその上司
コーディネーター：キャリア開発学科 准教授 手嶋 康則
- 閉会の挨拶 短期大学部長 清水 誠

肩書き等は開催日現在のもの

平成22年度 学生支援推進プログラム 公開フォーラム開催

「キャリア形成支援プログラムの成果と
高大接続に向けて」

平成19年4月に生まれたキャリア開発学科。学生に確かな実務能力をつけさせるサポートシステムとして、「組織的取組による短期集中型キャリア形成支援プログラム」に取り組み、このプログラムは平成21年度に文部科学省GP(学生支援推進プログラム)に採択され、平成22年度が採択最終年度となります。1月15日に本学・西1号館大講義室で公開フォーラム「キャリア形成支援プログラムの成果と高大接続に向けて」が開催され、同プログラムの成果報告と共に、講演やミニシンポジウムが行われました。



文部科学省 平成22年度 大学教育改革プログラム合同フォーラム出展

平成23年1月24日、25日の両日、東京・秋葉原で開催された「文部科学省平成22年度大学教育改革プログラム合同フォーラム」に、本学からは、平成21年度に採択された短期大学部キャリア開発学科の取り組み「組織的取組による短期集中型キャリア形成支援プログラム」を、ポスターセッションに出展しました。

本学ブースには200名を超す多くの方々が来訪され、取り組みに関する活発な質疑や情報交換が行われ、大変に有意義な機会となりました。



組織的取組による短期集中型キャリア形成支援プログラム

短期大学部キャリア開発学科

筑前町との連携に関する協定を締結

中村学園大学・中村学園大学短期大学部は、産学連携協力の促進により、地域の発展と人材の育成に寄与するため、平成23年2月9日に筑前町と連携協定を締結しました。

1、連携協定締結の目的

健康推進、流通科学、教育等の分野で相互に協力し、「食」を核として「モノづくり（黒大豆）」「ヒトづくり」「マチづくり」に包括的に取り組み、地域の発展と人材の育成に寄与することを目的としています。

2、本連携協定の特徴

本学は、栄養分野・流通分野・教育分野の学部・学科を開設しているほか、栄養クリニック・薬膳科学研究所・流通科学研究所・発達支援センター等の設置により、これまで食・健康・流通・教育をテーマとした研究成果・ノウハウを地域社会にて積極的に還元してきました。

今回、本学流通科学研究所を窓口として筑前町の「食を核とした地域活性化」計画に携わることに、本学の研究成果・ノウハウを地域社会に還元して、地域の活性化に貢献できると捉えています。また、このことから得られる成果は、本学学生への教育にも還元できるものと考えています。

3、連携内容

- (1) 健康づくり・医療・福祉に関すること
- (2) 食と農の流通に関すること
- (3) 教育及び人材育成に関すること
- (4) 地域づくりに関すること
- (5) 文化及び産業の育成・振興に関すること
- (6) その他相互に連携・協力が必要と認められる事項に関すること

4、当面の具体的取組み

- 受託研究…「健康づくりのための地域特産品の開発と食指導に関する研究」
- (1) 筑前町産「木酢」の成分分析
- (2) 筑前町産黒大豆（クロダマル）及び木酢を活用した健康づくりのためのレシピ開発
- (3) 地域特産品を生かした学習会・調理講習会における食の指導
- 受託研究…「黒大豆（クロダマル）及び加工食品を核とした「筑前町産農産物のブランド化」のために必要な調査・研究」
- (1) 黒大豆（クロダマル）を核とした商品開発及びブランド化への立案・設計
- (2) 黒大豆（クロダマル）の最適な流通経路の開拓
- (3) 筑前町における6次産業推進に向けた方策及び可能性の検証
- (4) 黒大豆（クロダマル）を核とした町おこし及び直売所等を活用した地域経済への波及効果
- (5) 黒大豆食品の消費者への普及・啓発活動



韓国・明知大学校が本学を訪問



福岡県の大学生が企画・運営した

「たべものと命を考えるシンポジウム2011」開催

平成23年2月5日、エルクール（福岡市中央区）で福岡県内の学生の企画・運営によるシンポジウムが行われました。

このシンポジウムは、学生に福岡の豊かな食と農業に関心を持ってもらおうとJAGグループ福岡と食糧・農林漁業・環境福岡県民フォーラムが主催したものです。運営委員として企画・運営一切を任されたのは、九州大学、日本赤十字九州国際看護大学、中村学園大学、同短期大学部など19名の学生たち。半年前から準備を進め、この日に備えてきました。

まず、JA福岡中央会の嶋田一義会長、県民フォーラム代表で本学流通科学部の甲斐論教授が挨拶を行いました。



流通科学部
甲斐 論教授



京都大学
森谷 敏夫教授



栄養科学部 4年
盆子原 香さん

基調講演を行ったのは京都大学の森谷敏夫教授。学生たちが元気な大学生活を送るために必要なエネルギーについて、太るは運動不足が原因で、過剰なダイエットは体に必要なエネルギーが不足してしまつたため、三食きちんと摂り、特にお米など炭水化物は脳や体を動かすためにきちんと摂って欲しいこと等、楽しく科学的に話され、会場の参加者は講演にくぎ付けでした。後半は学生によるパネルディスカッションが行われ、それぞれの農業体験や食の体験を通して、「発見、学び、行動」へと討議が行われました。最後に福岡の食材が当たる抽選会が行われ、会場は大いに盛り上がりました。

全体の司会進行を務めた本学栄養科学部4年の盆子原香さんは、よく通る落着いた声で、難しい役どころを見事に果たしました。



平成23年2月18日、本学・薬膳科学研究所と学術交流協定を締結している韓国・明知大学校から、教員4名・学生30名の一行が本学を訪問されました。当日は栄養科学部が主体となり訪問を歓迎、吉岡学部長から本学に関する概要説明の後、本学の崔教授（前韓国・慶北大学校学部長）による講演会（日本の国民精神、和と秩序）が韓国語で行われました。施設見学や学生食堂「食育館」での食事を楽しみながら、本学学生との意見交換などが積極的に行われ、両大学にとって大変有意義な国際交流の場となりました。

肩書き等は訪問日現在のもの

西部地区五大学連携講演会開催

- 福岡市の都市力アップに向けて -



漫画家
「博多町家」ふるさと館 館長
長谷川法世氏



公立大学法人福岡女子大学
理事長・学長
高木 誠氏

平成23年3月9日、福岡市の福岡大学において、西部地区五大学連携講演会「福岡市の都市力アップに向けて」が開催されました。

当日は、漫画家の長谷川法世氏から「博多の魅力―中世のなごり―」、公立大学法人福岡女子大学理事長・学長の高木誠氏から「地域での大学の役割」のテーマで、一般市民も招いての講演会が行われました。

西部地区五大学連携
九州大学、西南学院大学、中村学園大学、福岡大学、福岡歯科大学が、教育・研究・地域との交流等について、情報の共有、連絡協議、調査等の意見交換等を行い、地域貢献及び五大学の発展に寄与することを目的に設立された連携事業である。

福岡女子大学理事長・学長の高木誠氏は、去る3月17日に急逝されました。ここに謹んでご冥福をお祈りいたします。

肩書き等は開催日現在のもの



海外研修レポート～ハワイ大学リーワード校～

(短期大学部食物栄養学科)

15日間のハワイ大学滞留期間中、参加した学生たちはリーワード校のネイティブスピーカー教員が担当するクラスを受講し、本場のコミュニケーション中心の英語の授業を体験することができました。

リーワード校の日本語の授業にも参加して、日本文化のプレゼンテーションを行いました。折り鶴の折り方や、かるたとり、じゃんけんなどを、日本語学習者に分かりやすい日本語で説明し、実際に体験してもら

ました。

滞在先はハワイ大学マノア校のゲストハウスで、食事はハワイ大学の学生たちと一緒に学内のカフェテリアでとります。アメリカンサイズの飲み物や食べ物の数々を実際に見て、現地の食文化の現状を知り、栄養士を目指す学生たちは深く考えさせられたようです。



いました。本学の学生たちは、日本から浴衣や音楽CD、折り紙、景品を持参して活動に臨みました。

観光では水族館とピクニックランチ、ビショップ博物館、プランテーションビレッジを訪れ、ハワイの自然や文化歴史に触れました。

この研修は英語の履修科目として、単位認定が認められており、学生たちには出発前の1月15日から英語で日記を書くことが義務づけられています。

現地での授業や自由行動、学生のコミュニケーションを通して、「言っていることはだいたいわかるようになったから、もっと自分の言いたいことを伝えたい」、「ハワイ大学の学生の日本語に負けないくらい、自分も英語が話せるようになりたい」と積極的な態度に変わっていききました。

この経験を活かして、これからも異文化への興味を持ち、他者への思いやりのある、開かれた心を持った栄養士になってくれることを期待しています。

(短期大学部食物栄養学科
講師 津田晶子)

プログラム

- 開会の挨拶 学長 藤本 淳
- 取組みの概要 栄養科学部長 吉岡 慶子
- 基調講演
川崎医療福祉大学 医療技術学部臨床栄養学科 教授
日本栄養改善学会副理事長 中坊 幸弘氏
「管理栄養士の専門性を高める養成のあり方」
- 実施状況報告
 - 栄養クリニック実習とヘルスチェック調査
栄養科学部 教授
健康増進センター長 中野 修治
 - 模擬患者実習
栄養科学部 教授 森山 耕成
 - OSCE (客観的臨床能力試験) トライアル
栄養科学部 准教授 大和 孝子
- 臨地実習の現場からの提言
済生会八幡総合病院 管理栄養士 塩田 由紀氏
福岡新水巻病院 管理栄養士 平島 さゆり氏
- 閉会の挨拶 栄養科学部長 吉岡 慶子



平成22年度 大学教育推進プログラム 第1回福岡フォーラム開催 「患者の行動変容を導く 管理栄養士の育成」

栄養科学部の取り組み「患者の行動変容を導く管理栄養士の育成」が、文部科学省から平成22年度「大学教育・学生支援推進事業大学教育推進プログラム(教育GPP)」に採択されたことを受けて、平成23年3月19日に第1回福岡フォーラムが本学で開催されました。

吉岡慶子栄養科学部長による取り組みの概要の説明に続き、川崎医療福祉大学医療技術部臨床栄養学科・中坊幸弘教授の基調講演や栄養科学部の中野修治教授、森山耕成教授、大和孝子准教授からの実施状況報告などが行われました。また、臨地実習現場からの提言もあり、これからの管理栄養士教育の在り方について活発な質疑応答が行われました。

肩書き等は開催日現在のもの

プログラム

- 「メタボ・糖尿病の克服に向けて」
 ～口腔・栄養・代謝から見た管理・治療戦略～
 ■開会の辞・総司会
 向坂 彰太郎（福岡大学病院 副院長）
- 当番校挨拶
 瓦林 達比古（福岡大学 副学長）
- 第1部—
 「歯と糖尿病の切ってもきれない関係」
 福岡歯科大学 高齢者歯科学分野 准教授／内藤 徹
 「糖尿病予防と治療」～食からのアプローチ～
 中村学園大学 栄養科学部 教授／大部 正代
 「メタボ・糖尿病診療の新しい動向」
 福岡大学医学部 内分泌・糖尿病内科学 教授／柳瀬 敏彦
- 第2部— 公開討論
 司会進行：向坂 彰太郎（福岡大学病院 副院長）
- 閉会の辞 吉岡 慶子（中村学園大学 栄養科学部長）

肩書き等は開催日現在のもの

第6回地下鉄七隈線沿線 3大学合同シンポジウム開催



平成23年1月22日、福岡大学病院・福大メディカルホールにおいて、第6回地下鉄七隈線沿線3大学合同シンポジウムが開催されました。

このシンポジウムは、地下鉄七隈線沿線に所在する中村学園大学、福岡大学、福岡歯科大学の3大学の連携のもと、市民の健康づくりを目指して実施しています。今回は「メタボ・糖尿病の克服に向けて」というメインテーマのもと、第1部では各大学の講師から、それぞれの専門分野における健康づくりへの提言についての講演が行われ、第2部では、第1部の講演を受け来場者から提出された質問票をもとに、公開討論が展開されました。

プログラム

- 第1日目
 ●食育—子どもの成長に応じた乳幼児食について—
 名誉教授／城田 知子
- 子どもの運動と脳の可塑性
 人間発達学部 准教授／中野 裕史
- 第2日目
 ●保育者のためのパソコン活用
 人間発達学部 教授／新ヶ江 登美夫
- 発達障害理論と教材作り
 社会福祉法人しいのみ学園 主任児童指導員／松尾 仁
- 第3日目
 ●虐待防止における保育所や幼稚園の課題
 —保育者が対応できることとできないこと—
 人間発達学部 教授／笠原 正洋
- 保護者を観察すること・援助すること
 短期大学部幼児保育学科 准教授／圓入 智仁

肩書き等は開催日現在のもの

子どもの育ちをみつめる“保育・教育専門講座” ～発達支援センター公開講座～

平成23年1月22日、2月5日、2月19日の3日間、発達支援センター主催の公開講座「子どもの育ちをみつめる“保育・教育専門講座”」が開催されました。

今年度は「発達支援の実践を通して発達を学ぶ」というテーマで、左記の内容にて実施されました。いずれも今日の保育や教育の現場で関心をもたれている諸問題について考察が行われ、実りある講座となりました。



プログラム

- オープニングセッション
 挨拶 西南学院大学 学長 G.W. バークレー
- ポスターセッション
 31事例発表(14大学・1短期大学・1賛同者・2コンソーシアム参加)
 【中村学園大学栄養科学部】
 患者の行動変容を導く管理栄養士の育成
 - 付属医療施設「栄養クリニック」での早期臨床体験と模擬患者実習を基盤とした実践教育 -
 (文部科学省 大学教育・学生支援推進事業 大学教育推進プログラム)
- 【中村学園大学短期大学部キャリア開発学科】
 組織的取組による短期集中型キャリア形成支援プログラム...2年目の展開(文部科学省 大学教育・学生支援推進事業 学生支援推進プログラム)
- 第1回CDプロジェクト報告会
 CDプロジェクトの振り返りと成果報告
- 企画セッション
 「人が学ぶ、組織が育つ～明日の教職協働を考える～」
 モデレーター 明治大学 特任教授 芦沢 真五
- クロージングセッション
 挨拶 九州大学 理事・副学長 丸野 俊一

Q-conference 2010 - Q-Links 活動報告会 -

(栄養科学部・短期大学部キャリア開発学科)

平成23年2月19日「Q-conference 2010」が、西南学院大学において開催されました。このイベントは、Q-Links（九州地域大学教育改善F.D・SDネットワーク）活動報告会として、Q-Linksの担当者及び大学教育改善に関わる教職員や学生が一堂に集まり、出会い、知り合い、発見し合っていく場として企画されたものです。

仲間の知恵や工夫を知り合う「ポスターセッション」、カリキュラムづくりのコツを共有する「Q-Link第1回CDプロジェクト報告会」、人が学ぶ、組織が育つをテーマに、次年度以降の活動への展望を示す「企画セッション」という構成で展開され、200名近い参加者が集まりました。

本学からも、栄養科学部及び短期大学部キャリア開発学科がポスターセッションに参加。文部科学省G.P.採択事例としての取り組みが紹介されました。

九州地域大学教育改善F.D・SDネットワーク人的ネットワークの構築や情報共有を通じて、各大学の教育の充実・発展に寄与することを目的に福岡市内の6大学（九州大学・西南学院大学・福岡大学・福岡歯科大学・福岡女子大学・中村学園大学）でスタートした。賛同校は、九州・沖縄全域で25大学を超え、ネットワークは今も広がっている。

児童文化部 パネルシアターくらぶ PEC・べく が 学生ボランティア団体助成に採択

本学の児童文化部（パネルシアターくらぶ PEC・べく）が、財団法人学生サポートセンターの「学生ボランティア団体」助成事業に採択されました。昨年のエコサークルの採択に続き本学では、2団体目となります。

この助成は、自由な発想と行動力によって社会貢献を計画・実行している学生団体を対象に、団体組織の活性化やネットワーク作りなどを経済的に支援し、社会貢献活動を応援することを目的としています。応募できる対象は、過去に2年以上の活動実績がある団体で、学生を主たる

構成員とするボランティア団体です。児童文化部は、24名の部員が活動しており、部員全員が子どもが大好きで、子どもの笑顔のため、また、保育技術向上のため、日々力を合わせて頑張っています。

具体的な活動としては、地域の子

育てを応援するために幼稚園や保育園、子育てサークルや小学校などで

パネルシアターや運動遊びなどの公演活動、その他に城南保健所共同プ

ロジェクトで新しいパネルシアター

を制作し、O・157の予防と食育

キャンペーン」なども行っています。



春のオープンキャンパス

平成23年3月19日、春のオープンキャンパスが開催されました。当日は485名の高校生や保護者の方々にご来場いただきました。オープンキャンパスでは、入試相談や学生生活相談をはじめ、栄養士系、幼児保育・児童教育系、企業系の分野における模擬授業や在学生との交流、クラブ・サークル紹介、入試説明会などのイベントが盛りだくさんで、参加した高校生からは、「来て良かった。受験を頑張ります。」「スタッフがみな優しく嬉しかったです。」といった声が寄せられ、大好評でした。

なお、夏のオープンキャンパスは8月6日と8月20日に開催される予定です。小論文講座や入試問題の傾向と対策など、更に充実したイベントを実施します。



映画「太平洋の奇跡」学生限定試写会開催 ～主演の竹野内豊さんが登場～

平成23年1月24日、本学・西1号館10階大講義室において、映画「太平洋の奇跡―フォックスと呼ばれた男―」の学生限定特別試写会が開催されました。

試写会には、主演の竹野内豊さんと監督の平山秀幸さんが登場し、会場につめかけた約250名の学生の熱狂的な歓声で会場は歓迎ムード一色に染まりました。

また同時に開催された、「学生記者団による『太平洋戦争を伝えるキャンペーンin福岡』発表イベント」では、流通科学部3年の岡崎里美さんと同2年の貞木美樹さんのほか、九州大学2名、西南学院大学1名、福岡大学1名の合計6名の学生が、戦争について九州各地で重ねてきた調査活動の集大成として、「20歳が伝える太平洋戦争in九州」をテーマに取材結果発表を行いました。



岡崎さん（左から3番目）と貞木さん（同5番目）



学生表彰

平成22年度

総合GPA優秀者表彰

「中村ハル育英奨学金規程」による、平成22年度総合GPA優秀表彰者が左記のとおり決定しました。表彰者には学位記授与式当日、表彰状と純金製のメダルを配した盾が手渡されました。

大学

栄養科学部 栄養科学科 工藤亜希子
人間発達学部 人間発達学科 児童発達学専攻

流通科学部 流通科学科 江口 万記

短期大学部

食物栄養学科 鈴木 千織
キャリア開発学科 澤村 優希
幼児保育学科 逢坂 唯菜

GPAとは、Grade Point Average の略です。

GPAは、学生が履修した科目の成績評価に応じて、秀(特優)(4点)、優(3点)、良(2点)、可(1点)、不可・失格(0点)としています。総合GPAとは、学生が在学中に履修した科目それぞれのGPAに、その科目の単位数を乗じて得た値の合計を、全履修登録科目の合計単位数で除して得た値のことです。この数値で、1単位当たりどれだけ高い学習効果をあげたかが評価できます。

平成22年度卒業学生 表彰者

各養成課程を優れた成績で卒業する学生を各種団体が表彰しています。平成22年度は次のとおり決定しました。

●全国栄養士養成施設協会会長表彰者

短期大学部 食物栄養学科 中村 春菜
大学 栄養科学部 栄養科学科 坂本 千夏

●全国保育士養成協議会会長表彰者

短期大学部 幼児保育学科 上田 まり
大学 人間発達学部 人間発達学科 幼児発達学専攻 荒木 茜

●日本フードスペシャリスト協会会長表彰者

短期大学部 食物栄養学科 山口 愛
大学 栄養科学部 栄養科学科 藤岡 恵

教員の表彰

社団法人全国保育士養成協議会 会長表彰



中野 隆二 准教授

平成23年2月、中野隆二准教授(人間発達学部)が、社団法人全国保育士養成協議会会長から表彰を受けました。この表彰は、永年にわたり保育士養成施設において教育に尽力され、多大な貢献をされた教員に対して贈られるものです。中野隆二准教授は、本学及び前任校等でこれまで30余年に渡って養成に携わっています。

発行・発行のお知らせ

「食物栄養学科のあゆみ」第6号発行

平成22年12月に「食物栄養学科のあゆみ」第6号が発行されました。この冊子は、平成20・21年度の短期大学部食物栄養学科の活動報告書として、FDの推進をはじめ各種活動への取り組み、活動を記録し、これを基として更なるFDの推進を図り、更には学科の将来目標検討の資料とすることを目的としています。第1部を学科のあゆみとし、入学試験の状況、学科内FD推進の取り組み、教育の充実・高度化への取り組み、就職支援活動など、学科の日常の取り組みについてまとめ、第2部は、



学科教員(助手・副手を含む)の研究活動及び社会における活動についてまとめています。

(短期大学部 食物栄養学科 教授 橋本俊二郎)

「美術部門プロジェクト研究 造形教材集」発行

中村学園大学・中村学園大学短期大学部の美術部門プロジェクトによる研究集大成、子どもの成長を育む小学校・幼稚園・保育所の指導者等に贈る「造形教材

集」が発行されました。本書は、本学の実技授業を中心に実践的教材を捉え、フルカラー105頁、教材例は82題材で、平面造形、立体造形、及び鑑賞・資料幼児の造形発達)を掲載し、多くの児童幼児教育者に提案するものです。これを記念して、平成23年3月16日、本学・食育館において「造形教材集」発行記念会が行われました。中村量一理事長、藤本淳学長をはじめ、福田伸光人間発達学部長、松尾智則幼児保育学部主任、美術プロジェクト研究のスタッフ・協力者など19名が参加し、この研究について活発な意見交換が行われ、有意義な会となりました。



教職員の動き

採用人事(平成23年4月1日付)

教授(大学・教育学部) 占部 賢志
准教授(大学・栄養科学部) 望田 研吾
准教授(大学・栄養科学部) 三好恵美子
准教授(大学・栄養科学部) 三堂 徳孝
准教授(大学・キャリア開発学科) 橋本 義徳
講師(大学・流通科学部) 岸川 公紀
講師(大学・流通科学部) 池田 祐子
講師(大学・流通科学部) 大川 洋史
講師(大学・幼児保育学科) 中川 宏道
講師(短大・幼児保育学科) 向坂 幸雄
常勤助手(大学・栄養科学部) 永末 智子
常勤助手(大学・教育学部) 水田 絵美
常勤助手(短大・キャリア開発学科) 黒水るみこ
法人本部総務部付課員 仁田原泰子
中村 紘石

外部資金受入れ状況

受託研究

- 【研究者】熊原 秀晃 講師（栄養科学部）
 【研究課題名】中国帰国者の生活習慣と体力および Quality of Life に関する検討
 【企業名】社団法人福岡県中国帰国者自立促進協議会
 【金額】2,720,266円

- 【研究者】甲斐 諭 流通科学研究所 所長（教授）
 【研究課題名】イノシシ肉の流通・販路等の開発業務
 【企業名】宗像市
 【金額】100,000円

研究助成

- 【研究者】津田 博子 教授（栄養科学部）
 【研究課題名】チーズホエー酵素分解物の機能性探索～骨芽細胞の骨代謝制御因子におよぼす作用について～
 【企業名】日本ミルクコミュニティ株式会社
 【金額】1,000,000円

共同研究

- 【研究者】太田 英明 教授（栄養科学部）
 【研究課題名】沖縄県産柑橘のヒーリングアロマ効果を活用した機能性果汁飲料の開発
 【共同研究機関名】財団法人沖縄科学技術振興センター
 【金額】1,500,000円

学部・大学院事務室室員
 就職課職員
 管財課事務職員
 あさひ幼稚園常勤講師
平成23年度役職者

大学院栄養科学研究科長
 大学院人間発達科学研究科長
 大学院流通科学研究科長
 栄養科学部部長
 栄養科学部学部長補佐
 栄養科学部学部長補佐
 教育学部長
 教育学部長補佐
 流通科学部部長
 流通科学部学部長補佐
 流通科学部学部長補佐
 短期大学部長
 食物栄養学科主任
 キヤリア開発学科主任
 幼児保育学科主任
 図書館長
 薬膳科学研究所所長
 発達支援センター長
 流通科学研究所所長
 大学付属あさひ幼稚園園長
 大学付属あさひ幼稚園主任教諭

上田 洋平
 古閑 希
 丸山 美
 中野 修治
 昇任・昇格人事
 阿部志磨子（短大 准教授）
 寺澤 洋子（短大 准教授）
 増田 隆（短大 准教授）
 中島 恵子（短大 准教授）
 音成 陽子（短大 准教授）
 吉田 弘子（短大 准教授）
 太田 千穂（短大 准教授）
 吉田 寿美（短大 准教授）
 吉田 淳子（短大 准教授）
 塚田 英樹（短大 准教授）
 坂口 咲子（短大 准教授）
 金 成淑（短大 准教授）
 西尾 正（短大 准教授）
 辻原 陽一（短大 准教授）
 野上 俊一（短大 准教授）
 小野 美咲（短大 准教授）

久富さよ子
 洲上乃里子
 昇任・昇格・配置換え等人事
 （平成23年4月1日付）
 常勤教職員から専任教職員への人事
 学事課課長
 常勤助手（短大）
 野上 俊一（短大 准教授）
 小野 美咲（短大 准教授）



教員の出版物

著者は、本学教員のみ記載、
 （ ）内は出版社、発行年月



「食品流通のフロンティア」
 甲斐 諭
 流通科学部・教授 流通科学研究所長 編著
 （農林統計出版株式会社 平成23年3月）



「NST ガイドブック 2011」
 小野 美咲 栄養科学部・常勤助手
 中野 修治 栄養科学部・教授 共著
 （株式会社メディカルレビュー社 平成23年1月）



「がん栄養療法ガイドブック」
 小野 美咲 栄養科学部・常勤助手
 中野 修治 栄養科学部・教授 共著
 （株式会社メディカルレビュー社 平成23年1月）



「学びを起す授業改革 - 困難校をトップ校へ導いた“大谷システム”の奇跡 -」
 田村 知子
 大学・栄養科学部・講師 編著
 （株式会社ぎょうせい 平成23年3月）

退職人事（平成23年3月31日付）
 吉岡 慶子（短大 准教授）
 柳 寛二（短大 准教授）
 佐原 忠夫（短大 准教授）
 財部 建夫（短大 准教授）
 稲益 康雄（短大 准教授）
 小阪 祐輔（短大 准教授）
 中野 孝治（短大 准教授）
 藤川 悦子（短大 准教授）
 山口 孝治（短大 准教授）
 蒲田 悦子（短大 准教授）
 岸田 悦子（短大 准教授）
 松尾 悦子（短大 准教授）
 堀川 悦子（短大 准教授）
 徳久 裕美（短大 准教授）



合同学友自治会主催

第1回日本人学生と留学生との交流イベントを開催

平成23年1月29日、日本人学生と外国人留学生の交流を目的とした合同学友自治会主催のイベントが行われました。

交流会の第1部は、日本人学生対留学生のフットサルの試合が行われました。双方一進一退を繰り返し白熱した試合となり、フットサルだけでは勝敗が決まらず、バスケットボールの試合も行うことになり、冬の寒さを吹き飛ばすような熱気あふれるスポーツ大会になりました。

第2部では本学・食育館で立食パーティーが行われました。全員参加のビンゴゲームも行われ、「ビンゴ」という声がかかるたびに歓声とため息がまじり、日本人学生と留学生の交流を深めていきました。



活躍する卒業生

Graduate of Nakamura



株式会社ニチレイ・ロジスティクス九州

今別府 圭子さん

中村学園大学短期大学部
キャリア開発学科（平成21年度卒業）

食品の安定的な供給を、 総務、経理分野からサポートしています。

円滑な業務を縁の下で支えながら、
会社にも、社会に貢献したい

私が働いている株式会社ニチレイ・ロジスティクス九州は、低温物流事業を核として業務を展開しています。お客さまからお預かりした加工食品や水産、畜産品を冷凍保管し、広いネットワークと物流のノウハウを活かして、九州・山口の各地域へ供給しています。現在は企画管理部に所属しており、主に総務と経理を担当。社内業務が円滑に進められるよう、事務の分野でサポートしています。

入社から1年が過ぎ、仕事にもようやく慣れてきました。とは言え、上司や先輩方にはまだまだ教えて頂くことば

かり。早く一人前になって会社に貢献できるよう、社内・外で開かれている講習会や研修にも積極的に参加してスキルを磨いています。

私がこの会社を選んだのは、就職で説明会に参加したのがきっかけです。事業所を見学した時、そこで働く社員の方々の雰囲気にとっても良い印象を受け、「ぜひ、ここで働きたい!」と思うようになりました。実際に働いてみるとやはり印象通りで、社内には開かれた明るい雰囲気の流れれており、この職場環境がとても気に入っています。

仕事を進めるうえで大切にしているのは、人が気づかないところにも自分がいち早く気づき、率先して取り組む姿勢を持ち続けること。私の役目は、社員

の皆さんが業務をスムーズに進められるようサポートすることなので、常に広くアンテナを張り、自ら積極的に行動する姿勢を大切にしています。中村学園大学短期大学部では、キャリア開発学科に在籍していました。2年という短い時間でしたが、カリキュラムは濃密に構成されており、ビジネスに直結する実践的な学びを得ることができました。資格取得では、日商PC検定や秘書技能検定などさまざまな分野に挑戦。授業ではグループディスカッションやプレゼンテーションの機会も豊富に設けられ、一つのテーマを基に他者と意見を活発に交わしたり、人前で企画を提案したりなど、そうした経験は現在の仕事にも大いに役に立っています。ゼミでは日野修造先生に簿記を指導して頂きました。授業以外にも進路相談などに親身に耳を傾けてくださり、先生には本当に感謝しています。短大で得た多くの学びと、数々の出会い。これらは確かな財産となつて、今の私を支えてくれています。

先輩の皆さんに伝えたいのは、一瞬、一瞬を大切に一生懸命動いて欲しいということ。私自身、就職活動はとても苦労しましたが、自ら動くことを常に心掛けていたので、今の自分があると思っています。行動すれば未来はきっと開かれるはず。中村の恵まれた環境を大いに活かして頑張ってください。

就職課コラム

昨年度、本学で行われた保護者説明会の中で、大学4年生と短大2年生の就職内定者への質問として「就職活動中に保護者にしてもらいたいこと」を訊いてみましたところ、そっとしてもらいたいと思う一方で、励ましの言葉やさりげない優しさが心の支えになったという意見が挙げられました。

昨今の厳しい就職環境で学生の就職活動も長期化しており、途中でじけそうになる学生も多くいます。保護者の皆様におかれましては人生の先輩、良き理解者としてサポートしていただくようお願いいたします。



九州各県にある事業所との電話でのやり取りも多いが、社員からの「ありがとう」の言葉が励みになっている。



CLUB & CIRCLE

硬式テニス部

◎部員数／16名

◎部長／堤 陽平
(人間発達学部3年生)



部員は16名。経験者だけでなく、大学から硬式テニスを始めたという初心者もいるとか。明るさと確かなチームワークが部の持ち味。



練習では本番を意識したゲーム形式も取り入れており、一つひとつのプレーに気合いが入ります。



最大の強みである団結力で、
目標達成を目指す。

硬式テニス部のモットーは「団結力」。
更に上のリーグへの昇格を目指し、部員全員が
切磋琢磨しながら練習に励んでいます。

硬球のはずむ音と、気合いの入ったかけ声が芝のコートに響き渡る硬式テニス部。部員は現在16名を数え、月・水・金の週3回活動しています。男女一緒になって練習に励んでおり、明るさと、元氣、そして部員の結束力が高いのもこの部の特長の二つ。ともに励まし合い、切磋琢磨しながら腕を磨いています。

現在は、大学九州リーグの5部に所属。最大の目標は、9月に行われる全日本大学対抗テニス王座決定試合九州地区大会で優勝し、4部リーグに昇格すること。そのためにはまず、メンバー個々の技術を向上させることが必須であり、声かけやトレーニングの一つひとつにも自ずと力が入ります。練習はストレッチから始まり、ストリートやボレーでのラリー、そして最後はゲーム形式での実戦。集中力を高め真剣に取り組むことで、技術力は日ごとに向上しています。

部長を務める堤陽平さん(人間発達学部3年)は、「部の目指す目標が明確にあるので、練習にも緊張感をもって取り組むことができます。『勝ちたい』という



先輩に指名され部長を務めることになった堤 陽平さん(人間発達学部3年生)。チームのまとめ役として部を牽引。

気持ちもますます強くなっているの、なんとか目標を達成したいですね」と、その意気込みを語ってくれました。

「団結力が部の特長。これは、先輩たちから代々受け継がれてきた伝統の一つでもあります。」「先輩、後輩に関係なくコミュニケーションがしっかりとれる、それがうちの最大の強み」と語るように、定期的にOB会も開かれ、タテ・ヨコのつながりは途切れることなく強固に結ばれています。「この団結力を活かして部員みんなが高め合えば、団体戦でもきつと成績が残せるはず。日々の練習を大事にして今後も頑張ります」と熱く語ってくれました。



教育学部、誕生!



今春、人間発達学部は教育学部に生まれ変わりました。

小学校、幼稚園、保育所、特別支援学校など、
教育・社会福祉分野で活躍できる豊かな人材を養成します。

このたび開設された「教育学部」は、今日まで中村学園大学が有能な教育者・保育者を多数輩出してきた「人間発達学部」をベースに改組し、その教育をさらに拡充・発展させたものです。

目指すのは、「幼児や児童の発達についての知識・技能を基礎にした小学校教諭・幼稚園教諭・特別支援学校教諭・保育士などの専門家」そして「幼児や児童の支援と教育についての素養を備えた社会人」の養成。

大きな特色として、小学校教諭一種免許・幼稚園教諭一種免許・保育士資格、新たに特別支援学校教諭一種免許（知的障害者・肢体不自由者・病弱者）の取得が可能になりました。



教育学部で取得可能な免許・資格



小学校教諭
一種免許

幼稚園教諭
一種免許

特別支援学校教諭
一種免許
(知的・肢体・病弱)

保育士資格

卒業時に3種類の免許・資格を同時に取得することができます。また、特別支援学校教諭一種免許（知的障害者・肢体不自由者・病弱者）は、小学校教諭一種免許または幼稚園教諭一種免許と同時に取得する必要があります。

広報誌セロリの定期購読について

定期購読をご希望の場合は、購読料（2年分）として郵便小為替1,200円分と、郵便番号・住所・氏名・電話番号を書いた紙片を同封のうえ、学事課宛にお送りください。なお、広報誌の発行は、年4回（4・7・10・1月）となります。保護者の方には毎号送付しています。

[申込み先]

〒814-0198 福岡市城南区別府5-7-1
中村学園大学 学事課「広報誌定期購読申込」係